



輸送サービス労組 東京支部

2024.7.22
NO. 130

JR浜松町駅改良工事に伴うホーム混雑問題



新橋営業統括センター&大崎運輸区&大田運輸区

3分会による意見交換会実施！

山手線・内回り 車掌

- ・通勤時間帯は肉眼でも先頭車の旅客が降りきれないのが分かる。発車ベルを4コラス鳴らしても乗降が終わらない。

京浜東北線・南行 車掌

- ・ラッシュ時間帯に発車ベルが乗務員室から離れていたため押しに行くと降りるお客さまの流れで乗務員室に戻れない。乗車のお客さまの一番後ろに並んで乗務員室に戻る時もある。気をつけてもお客さんにぶつかられる。線路に転落するのではないかと恐怖を感じる。

山手線・外回り 車掌

- ・朝の外回りは乗降扱いを行ったら北口に一斉にお客さまが向かう。通路が狭いので旅客が電車からホームへ降りきれない。

京浜東北線・南北行 運転士

- ・通勤・帰宅時間帯に浜松町駅に進入する際は速度を低めに進出もゆっくり出る時がある。また、この時間帯は注意喚起も含め汽笛を使用することがほとんど。臨時の速度規制も多く、進入・進出する際は非常に神経を使う。

新橋営業統括センター

工事開始から今日までの動き

- ・3月の勉強会にて改良工事とホームに仮囲いが設置されることが周知。工事開始後の1週間は警備員の設置、その後は社員がホームに1人常駐していたが、4月になり新社会人や学生の影響で浜松町駅の利用者が急増、それと同時にホーム上の仮囲いの増設がなされた。立番を担当した組合員だけでなく社員からも危険であると認識し、管理者に相談。その結果、今までテンボラリースタッフの増員、超勤対応と新橋駅からの応援による立番の増員をしている。

浜松町駅の特徴と 利用するお客様の声

- ・羽田空港からの大きな荷物を抱えたお客様も多く、訪日外国人が増え、不慣れな利用客ばかり。駅内の構造も分かり難く、見通しが悪いのが浜松町駅の特徴です。
- ・「JR浜松町駅を利用していたが、列車遅延とホーム混雑が嫌になり、大江戸線大門駅に変えた」という利用者からの声もあった。

暑い中、苦労しているのは現場社員であり、ギリギリで事故を防いでいる！
工事はまだ続くが、JR東日本の安全とサービスはこれまで良いのか？